

新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家 平成 27 年度事業計画書

施設名 新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家

団体名					
<p>1 基本的な運営方針等</p>	<p>(1) 事業理念・運営方針</p> <p>にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体の各構成団体は、いずれも新潟市内に本社を置き、地元とともに市民の皆様にて育てて頂き歩んできました。新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家の運営に当たっては、施設の機能、特色を民間のノウハウを活用して最大限に発揮した多種多様なイベント・講座を実施しつつ、新潟市内の各種施設や団体、住民等と連携し、市民との協働による「マンガ・アニメのまち にいがた」の実現に取り組むべく邁進します。また、公の施設として、誰もが公平・平等で安心できる施設となるべく、お客様目線に立った質の高いサービス、プログラムを提供することで、施設の賑わいを創出し利用者増を図り、以て、新潟市アニメ・マンガ情報館及び新潟市マンガの家が新潟市の文化活動の振興に資するとともに、新潟のマンガ文化及びアニメーション文化の市内外への発信、新潟市の観光交流の推進並びに地域活性化のフラッグシップとなることを目指します。</p> <p>・平成 27 年度来場者目標</p> <table border="1" data-bbox="544 1167 1273 1279"> <tr> <td>新潟市マンガの家</td> <td>合わせて</td> </tr> <tr> <td>新潟市マンガ・アニメ情報館</td> <td>140,000 人</td> </tr> </table> <p>(2) 指定管理者申請の動機、意欲及び抱負等</p> <p>前述の通り、にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体の各構成団体は、地元とともに歩んでおり、その企業活動の根本は「地元新潟市の発展に寄与する。」ことに他なりません。また、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家は、新潟市マンガ・アニメ文化を発信するフラッグショップを目指すという意味では正に「新潟市の未来を担う、未来への懸け橋」となるべき施設です。当共同体では、そのような施設を管理運営することは、各構成団体の企業活動の目的に合致すると考え、これまで培ってきた経験や民間ならではの質の高いノウハウを惜しみなく投入し、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家両施設の機能・特徴との相乗効果を生み出すことで、無限の可能性を引き出し、地元新潟市の益々の飛躍に確実に貢献できるものと確信しています。</p> <p>(3) 中期計画、長期的展望</p> <p>新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の機能・特色を発揮した多様なイベント・講座の実施による認知度の向上、利用者数の増大を図ります。</p>	新潟市マンガの家	合わせて	新潟市マンガ・アニメ情報館	140,000 人
新潟市マンガの家	合わせて				
新潟市マンガ・アニメ情報館	140,000 人				

	<p>また、関連各種団体との連携・協力を密にし、新たなサービスの研究・開発・育成を促進することで、両施設の機能強化を図り、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家のさらなる賑わいを創出するとともに、それらを全国に発信し、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家への益々の利用者増を実現し、さらには新潟市の交流人口の増加を図ります。さらにアニメスタジオ、ゲーム制作会社、フィギアメーカーまでを目標とし、マンガ・アニメ等のコンテンツ制作を積極的に支援するための「アニメ・マンガ特区」の設立に向け、官民一体で取り組み、新潟市に多くのクリエイターの活動拠点を設けます。</p>
<p>2 事業計画</p>	<p>(1) 各施設の事業</p> <p>(ア) 新潟市マンガ・アニメ情報館</p> <p>幅広いマンガ・アニメファンのための情報基地として機能します。</p> <p>①常設展示コーナー</p> <p>魅力的な展示コーナーを展開し、新潟市マンガ・アニメ情報館が新潟市内はもちろん、全国・海外のマンガ・アニメファンのための情報発信基地をメインコンセプトとして施設運営をします。</p> <p>②企画展示コーナー</p> <p>人気のある作品やジャンルなど目まぐるしく変化するコンテンツの動静を分析し、様々な出版社・イベンターなどと連携し、あらゆるマンガ・アニメファンに注目・来場して頂ける原画展やトークライブを企画・実施します。</p> <p>③ミニシアター</p> <p>企画展と連動したアニメやコンテンツを上映し、企画展への理解や興味を向上させます。</p> <p>(イ) 新潟市マンガの家</p> <p>「作家の為の支援サポート施設」と位置付け、はじめてマンガ制作に携わる初心者からセミプロ作家まで、幅広い人を対象にした「作家サポート施設」をメインコンセプトとした施設運営を行います。</p> <p>①常設展示コーナー</p> <p>来場者に何度でもきて頂くため、展示物をサポートできる独自コンテンツを随時提供します。</p> <p>②企画展示コーナー</p> <p>誰もが知っている作家の展示だけでなく、認知度は低いですが、その作品が技術的に優れていたり、アイデアが素晴らしかったりと、ヒットした作品以外の作家の作品にもスポットを当てて展示コーナーで紹介します。</p> <p>③交流体験スペース</p> <p>常勤する作家経験者が個々の利用者の課題解決のためのアドバイス、サポートを行います。</p>

	<p>④イベントの実施</p> <p>第一線で活躍する作家や高度の専門性を有する講師を招聘し、実際にマンガ制作に関わる多様な教室を定期的に実施し、アマチュア作家の制作スキル向上を図るとともに、教室やイベントの実施による施設の認知度向上・来場促進を図ります。</p> <p>⑤マンガの部屋</p> <p>新潟ゆかりのマンガ家のマンガ本の収集、閲覧が可能なスペースで来館者に対し、新潟ゆかりのマンガ家の作品の認知を深めます。</p> <p>(ウ) 連携事業</p> <p>新潟市アニメ・マンガ情報館と新潟市マンガの家両施設における利用者の回遊促進のため、両施設一体となった連携事業を年間最低5回実施します。</p> <p>(2) 附属事業</p> <p>(ア) マンガ・アニメの資料の収集、保存、調査及び研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の作家に呼びかけ、マンガ・アニメの原画・絵コンテの収集の検討準備に努めます。 ・マンガ原画の保存技術の確立（デジタル化等）を目指します。 <p>(イ) 情報提供、広報・PR活動</p> <p>*適切なメディアミックスによる効果的・効率的な広報宣伝活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメ雑誌等のマスメディアを活用した広報宣伝活動 ・パブリシティの活用 ・ホームページの活用 ・新潟市PRキャラクター花野古町・笹団五郎の活用 <p>(3) 自主事業</p> <p>新潟発のオリジナル事業の展開</p> <p>(ア) 新潟市マンガ・アニメ情報館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟発オリジナル萌えキャラクターの開発の準備 ・新潟発ゆるきゃらグッズの企画・販売の準備 ・情報館・マンガの家共通事業（古町・団五郎関連グッズ販売） ・企画展に合わせたグッズの販売 <p>(イ) 新潟市マンガの家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピーサービス等（交流スペースで作品を制作する人に必要な画材や関連する消耗品などを中心にした販売、コピーサービスの提供等）
<p>3 管理運営に関する事業計画</p>	<p>(1) 組織（人員）体制・人材育成計画</p> <p>新潟市マンガ・アニメ情報館と新潟市マンガの家を統括責任者のもと一元化した組織体制とします。また、施設毎でも業務責任者を配置し、業務責任者のもと一元化し、不測の事態に対応できる組織とします。</p>

	<p>また、常に良質なサービスを利用者に提供すべく、サービス精神及び技術の向上に適した各種研修を実施するとともに、適切なフォローアップを行います。</p> <p>(2) 適正な事務事業の実施にかかる対策</p> <p>施設に事務会計責任者、事務会計担当者を設置することで、複数人での多重確認体制を構築し、適正な事務事業を実現します。また、コンプライアンスの遵守、経費削減の意識を徹底し、それらを実現すべく運営に当たります。</p> <p>(3) サービス向上のための具体的な取り組み</p> <p>お客様アンケートや普段のお客様と職員との会話から利用者ニーズを的確に把握し、常に利用者目線に立ったサービス、プログラムを企画・検討し、提供します。また、実施した各種事業や取り組みについては、内部・外部でのモニタリング等を活用した PDCA サイクルによるさらなる改善を継続します。</p> <p>(4) 施設管理に関する取り組み</p> <p>災害等予測できない事態に備えて職員全員が定期的な訓練や教育を徹底し、状況に応じた適切な対応が可能な危機管理体制を構築します。</p> <p>また、誰もが安心・安全に施設を利用できるよう維持管理や清掃を適正に行います。</p>
<p>4 社会・地域貢献</p>	<p>(1) 市民の文化活動の振興に関する提案</p> <p>新潟市マンガ・アニメ情報館では、流行にこだわらず後世に伝えたいマンガ・アニメの展示により、ファンの定着並びにマンガ・アニメツーリズムの目的地として国内外から注目を浴びる施設となるべく取り組みます。</p> <p>新潟市マンガの家では、「マンガ教室（マンガのいっぽ）」を開催し、世代を超えたコミュニティを創造するとともに、マンガと日本古来の文化との融合を図ることで潜在的な利用者へ訴求し、将来的には「マンガの家発」のプロのマンガ家を多数輩出できるよう取り組みます。</p> <p>(2) 社会・地域貢献活動、環境保護等の取り組み</p> <p>社会・地域貢献活動としては、新潟市マンガ・アニメ情報館、新潟市マンガの家が市民に愛され、親しまれ、市民との協働での施設運営を実現すべく両施設ともにボランティアの受け入れ、活動支援を行います。また、地域住民、近隣施設、関係各団体等との密接な連携・協力体制の構築のため、当施設における事業についての情報提供、意見の聴取を積極的に行います。さらには障がい者雇用・社会参加の促進についても前向きに取り組みます。</p> <p>環境保護への取り組みとしては、節電、節水、廃棄物の抑制等の省エネルギー及び3Rを実行し、省資源化に努め、日々進歩する環境負荷を低減する設備機器やエコ情報を検証し、効果のあるものの導入を進めます。</p>